

ジャイアンツカップへの道 連載77

このコーナーは毎年、8月に開催される全日本中学野球選手権『ジャイアンツカップ』出場を目指す全国のボーイズチームを紹介するページです。

G杯初出場! 夢の舞台で日本一狙う
横浜南ボーイズ
横浜市南区



初のG杯出場を決めた横浜南ボーイズナイン

2002年創部の横浜南ボーイズが、7月6日に行われたジャイアンツカップ(G杯) 神奈川ブロック代表決定戦で、昨年代表のヤング相模原ベースボールクラブを破り、初出場を決めた。

リーグの全国大会は春夏通算9度出場、16年夏には準優勝にも輝いた強豪もG杯には縁がなく、昨年まで2年連続代表決定戦で敗れていた。悲願達成に三浦寿徳代表(58)は「一部員が増えてセカンドチームの横浜南中央ボーイズを発足させたばかり。このタイミングでG杯に出場できたことは、チームとしても大きい」とスタッフ、選手の努力を心から称えた。

「打って打ちまくる」超攻撃的野球で人気を集めている。初代指揮官の後藤均総監督(59)は「バントはしませんが、その分しっかりバットを振り込ませ、走塁も妥協しない。ただし、バントは高校で試合に出るための、必須科目ですから、選手は3年の夏に引退した後に練習します」と説明した。

現チームの1番は俊足で高打率の鈴木蓮主将(3年)だが、2番に豪快なフルスイングが自慢のパワーヒッター・小林剛介(3年)が座る。クリーンアップに並ぶ高橋快(2年)、鈴木斗偉(3年)、上本蓮夢(3年)も長打力抜群という重量打線だ。投手は升田旭飛(3年)、岡部真之佑(3年)が2枚看板。球威あるストレートが武器の升田はヤング相模原戦で1失点完投したG杯出場の立役者。調子を落としている岡部が復調すれば、鬼に金棒となる。鈴木蓮主将は「G杯は中学野球の集大成として臨み、優勝を狙います」と夢の舞台に意気込んだ。

~第13回 全日本中学野球選手権大会~ 『ジャイアンツカップ』8月12日開幕

中学硬式野球の頂点を争う『第13回全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップ』(報知新聞社など主催)が、8月12日から首都圏各地で開催(決勝は16日)されます。

2015年までボーイズ、リトルシニア、ヤングなどリーグごとに出場枠が与えられていましたが、16年大会から全国25地区の予選から勝ち上がった32チームによるトーナメント大会となりました。中学生球児の熱い戦いに注目しましょう。

【加盟団体】
ボーイズリーグ、リトルシニア、
ポニーリーグ、ヤングリーグ、
フレッシュリーグ

ジャイアンツカップ日程

8月	12日(月)	1回戦
	13日(火)	2回戦
	14日(水)	準々決勝
	15日(木)	準決勝
	16日(金)	決勝



優勝の瞬間、大淀ボーイズナインはマウンドに集まり歓喜のポーズ

昨年、ジャイアンツカップ優勝の大淀ボーイズナイン。エース・島野愛利投手を胴上げ

お店受取りで送料・手数料0円

セブン-イレブンの
定期購読

雑誌お取置き

雑誌を毎号ラクに買うなら「雑誌お取置き」が便利!

セブン-イレブンで
毎号受取れる!!

「月刊ジャイアンツ」の
ご注文はこちら→



サービス内容の
詳細はこちら→

